

Vol.1 No.4 2005年1月 ダigest

ISO14001 改訂版『ISO14001:2004』が 発行されました。

平成16年12月27日 経済産業省

この改正で社会的信用を維持する上での要求事項に対し安易な解釈が出来ないように厳格な規定がなされました。また、ISO9001との両立性を向上させるため、文書に対する規定や**文書・記録・手順・不適合・予防措置・是正処置・監査員**の定義がISO9001より引用されました。

新規格への移行期間は発行から18ヶ月間で、これ以降、猶予措置は適用されません。

公害防止管理者制度が変わります。

平成16年12月1日 経済産業省

『特定工場における公害防止組織の整備に関する法律施行令の一部を改正する政令』

効率的な公害防止組織の整備を図る為、以下の3点が規制緩和されます。

① 公害防止主任管理者の選任の要件緩和

主任管理者の選出が義務付けされている特定工場のうち、大気・水質を同じ人が兼任している場合等に主任管理者の選任を免除する選任要件の緩和。

② 公害防止管理者の選任区分の見直し

従来別々であった騒音と振動の2つの管理者区分を騒音・振動に統合。

③ 公害防止管理者の講習受講資格の見直し

受講資格を国家資格の合格者、技術士(化学)以外にも技術士(環境)や環境計量士、第一種作業環境測定士等を追加。

これらの政令は平成18年4月より施行されます。

(①の工場要件は平成17年4月より)

ICP-MSを導入しました！

弊社は、分析精度の向上と高度化する分析市場への対応、高品質な分析サービス提供の為、従来の金属分析法(ICP分析装置など)よりも高精度な誘導結合プラズマ質量分析装置『ICP-MS』を導入・稼動しました。



ICP-MSは、新水道法の分析や、世界的に注目されているRoHS指令などの金属分析に活用されます。また、従来の分析値よりも低濃度の金属を分析できますので、高精度な分析を希望されるお客様もご相談下さい。

地下水、基準値を上回る！

環境省および下野新聞発表

環境省は平成15年全国の地下水調査結果を発表しました。砒素やフッ素などの自然要因で検出される項目については横ばいでしたが、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素の基準値超過は昨年よりも増加しました。基準値を超過した井戸は全調査数の6.5%となり、栃木県における汚染状況は調査数(135本)のうち13.3%が基準超過で国内ワースト5位でした。

詳しい資料を希望の方は、研究開発室 柿沼
または営業担当までご連絡下さい。

業務内容

- ◆ 調査・分析・測定部門 (水質・大気・土壌・食品・環境アセスメント)
- ◆ プラント・工事・メンテナンス部門 (排水処理・用水処理・各種メンテ)
- ◆ 水処理薬品部門 (ホイラー・空調・化学洗浄関連薬品他)
- ◆ 環境保全機器部門 (滅菌・ろ過装置・各種測定計測器 他)